

海洋センター(艇庫)を活用したモデル事業の実施

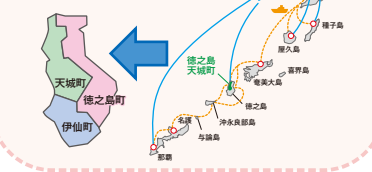
～事業概要～

天城町海洋センター(艇庫)の先進的かつ多目的な活動を促進するため、3か年にわたり天城町及びB&G財団が共同して事業を実施。

- 2016年度 現地調査
- 2017年度 艇庫改修・事業構築
- 2018年度 運営開始(リニューアルオープン・ソフト事業実施)

～自治体概要～

面積:80.35km²
人口:6,048名
高齢化率:33.4%



～構想図及び成果～

背景・課題

- 人口減少・高齢化による地域コミュニティの希薄化と減退
- 従来の「艇庫=倉庫」から、現代ニーズの多様化に対応した「多目的な施設」への変革

目的

- ①海洋性レクリエーションを通じた「青少年の健全育成」の更なる促進
- ②あらゆる世代の地元住民が集える「交流の場」としての活性化
- ③海等を活用した地域の魅力創出・観光による「交流人口の増加」

コンセプト

『子宝の島』の『子育ての基地』

成果

■徳之島内の小・中学校への体験機会増加

徳之島内の小・中学校へ向けた「マリンスポーツ教室及び水辺の安全教室」を提供

19/34校 316名



■民間他団体との連携による事業の充実

自治体が運営を行っていく中で、複数の民間他団体や地域住民の有志サークルなどを巻き込み、より活発な事業を提供

- ✦徳之島ウォーターバトールシステム
例)水上バイクを活用したアクティビティの実施
・教室やイベント時の監視・救助等の応援
- ✦地元の婦人サークル
例)島内のハンドメイド作家やショップなどを集めた販売会を実施



■利用者人数の増加

2016年度
1,091名

約7倍増

2018年度
8,471名
※2018年12月末日現在

■「全地域住民」へ向けて、通年を通じた事業及び活動機会の提供

夏季及び海での活動に問わず、幅広い世代に向けたイベントを提供。住民による自主活動(教室など)を実施



■改修による多様な機能の付加による利用快適度の向上

- キッズスペースの導入
- トイレ・温水シャワーなどの設置
- 日よけスペースを確保

ハード面

「マリンスポーツ」だけでなく、多様な活動を行える施設機能を付加



改修前



改修後(リニューアル)

～2F展望デッキ～



駐車場よりスロープを新設。駐車場より直接出入り可

1F(海)から2F展望デッキへ移動できる

上空からの艇庫写真



マリンスポーツだけでなく、子供用遊具等も配備!

～1F(艇庫・受付・トイレ)～



移動式の器材ラックを配備し、舟艇保管スペースでも式典やイベントが開催可能



子供たちの遊び場やイベントスペースとして活用

～1Fデッキ下～



利用者や海水浴客の休憩(日よけ)スペース



「水辺の安全紙芝居」の朗読の様子

～2F多目的ルーム～



海にあまり入らない幼児向けキッズスペースとして活用



～1F多目的ルーム～



教室などの実施だけでなく、繁忙期には休憩場所としても提供

～1Fテナント～



軽食の販売が可能なテナントスペース。地元の食材を生かした商品やメニューの提供。休憩場所としても活用
※2019年度より運営予定

●艇庫特別施設整備について

「地域海洋センター修繕助成制度」内にて、艇庫特別施設整備を設けております。2018年度から概ね5カ年(予定)に限り、特別措置として、多機能化を目的とした艇庫の建替え・移設・増築については、舟艇の購入費も含め助成額上限3,000万円を支援します。なお、3,000万円の内、助成額上限1,000万円に限り、舟艇及び器材も支援します。

※詳細は海洋センター・クラブ課までお問合せ下さい。